

12月にお願いしました、「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果をお知らせいたします。

皆様からいただいた学校評価を真摯に受け止め、泉川CSとして、より良い教育活動の推進に努めて参ります。今後も何卒、ご支援・ご協力を、お願いいたします。

<令和6年度・学校評価アンケート結果>

数値は、「4・・・あてはまる」

「3・・・だいたいあてはまる」

「2・・・あまりあてはまらない」

「1・・・あてはまらない」

の4観点の平均です。下段は昨年度との比較です。

評価項目	児童	教員	保護者
1 いつも笑顔であいさつできる。	3.0 -0.1	3.2 +0.2	2.5 -0.5
2 主体的に学習に取り組んでいる。	3.3 -0.1	3.0 -0.2	2.9 +0.1
3 自分や友達を大切にしている。	3.6 -0.1	3.0 -0.3	3.4 同じ
4 基本的な生活習慣や交通ルールが身に付いている。	3.1 同じ	2.8 -0.3	3.2 同じ
5 安心した環境で、自分が出せている。	3.2 -0.1	3.1 -0.1	3.1 -0.2
6 子どもの良さを大切にした教育活動を行っている。	3.3 -0.1	3.5 -0.1	3.2 -0.2
7 コミュニティ・スクールとして地域のつながりを大切にした教育活動を行っている。	3.4 同じ	3.4 -0.3	3.3 -0.1
8 知的好奇心が高まる教育活動を行っている。	3.3 -0.1	3.2 -0.2	3.6 +0.4
9 人を大切にする指導・支援を行っている。	3.7 同じ	3.3 -0.3	3.1 -0.2
10 学校の様子が分かりやすく伝えられている。	3.5 +0.1	3.4 -0.3	3.2 -0.1

<学校評価の考察>

- 全体(児童、教職員、保護者)
計30の評価項目のうち、21項目(70%)が、前年度を下回っている。
- 児童
10項目のうち、6項目(60%)が、前年度を下回っている。
「いつも笑顔であいさつ」「基本的な生活習慣・交通ルールの定着」が、特に低い。
- 教員
10項目のうち、9項目(90%)が、前年度を下回っている。
「基本的な生活習慣・交通ルール」「主体的な学習」「自分・友達を大切に」が、特に低い。
- 保護者
10項目のうち、6項目(60%)が、前年度を下回っている。
「いつも笑顔であいさつ」「主体的な学習」「安心した環境」「人を大切にする指導・支援」が、特に低い。
- 成果
家庭・地域・関係諸機関のご支援・ご協力をいただきながら、コミュニティ・スクールの理念「地域の子どもは、地域で育てる」を大切にして、教育活動を推進することができた。
- 課題
21項目(70%)が、前年度を下回った評価を、真摯に受け止める。
(1) 凡事徹底……挨拶、基本的な生活習慣、交通ルール
(2) 安全確保……安全・安心な教育環境、学校の共通理念「ならぬことは、ならぬもの」
(3) 心の醸成……自分・友達を大切に、自己表現・自己実現への支援
(4) 学習の改善……主体的な学習、知的好奇心が高まる学習
(5) 連携・協働……学校・家庭・地域・関係諸機関の協働、情報公開の観点から課題解決を図り、より良い教育活動を推進する。
特に、学校の共通理念「ならぬことは、ならぬもの」を徹底する。

<学校関係者評価(学校運営協議会より)>

- 児童も教職員も活動的で、学校に活気がある。
- 小中連携の活動では、児童の素直さを感じた。
- 合唱クラブ、陸上の活躍がすばらしかった。
- 読み聞かせ・さいほう先生では、児童が落ち着いて、話を聞いていた。
- マラソン大会での、児童の応援がすばらしかった。
- マラソン大会では、児童みんなが頑張っていた。
- 校内で困ったことがある際、地域への相談、教員の対応が早い。
- 挨拶の輪が広がっているが、みんなができるようになればよい。
- 遅刻する児童、保護者の送り迎えが気になる。
- 一人一人の友達を、大切にしてほしい。
- 保護者同士が、児童のための対話ができるように、交流を積み重ねる必要がある。
- 授業サポートについて、地域ボランティアに、支援を依頼するとよい。

<課題解決へ向けた積み上げと改善策>

1 いつも笑顔であいさつ

- おとなから挨拶をする
- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進
- おとな(教職員、家庭、地域)による見守り・見届け
- 各種委員会活動(常時活動)の活性化

2 主体的な学習

- 地域の先人・素材・人材を活用した学習・体験活動の推進
- 「習得⇒活用⇒探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と人材活用
- ICT活用による学習成果の共有・深化
- 系統的(小・中学校9年間)・横断的(総合単元的)な学習の推進
- 自己表現・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

3 自分や友達を大切に

- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」支持的風土の醸成
- 各種委員会活動(常時活動)の活性化

4 基本的生活習慣や交通ルールの定着

- 学校の共通理念「ならぬことは、ならぬものです」の継承
- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域)による見守り・見届け
- 子どもの視点による安全管理・危機管理
- チェック機能の定期的な点検・分析・改善
- エーデルワイス(予鈴)の徹底・継承
- 各種委員会活動(常時活動)の活性化

5 安心した環境の中での自己表現

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域)による見守り・見届け
- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」支持的風土の醸成
- 子どもの視点による安全管理・危機管理
- チェック機能の定期的な点検・分析・改善

6 子どもの良さを大切にした教育活動

- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進
- 「習得⇒活用⇒探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と人材活用
- 自己表現・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

7 コミュニティ・スクールとして地域のつながりを大切にした教育活動

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域)による見守り・見届け
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進

8 知的好奇心が高まる教育活動

- 地域の先人・素材・人材を活用した学習・体験活動の推進
- 「習得⇒活用⇒探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と人材活用
- ICT活用による学習成果の共有・深化
- 系統的(小・中学校9年間)・横断的(総合単元的)な学習の推進
- 自己表現・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

9 人を大切にする指導・支援

- おとな(教職員、家庭、地域)による見守り・見届け
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「はじめに子どもありき」を大切にした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」支持的風土の醸成
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と人材活用
- 自己表現・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

10 情報公開

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「学校行事の公開」「地域行事への参加」による人的交流
- ICT活用(HP、マチコミメール、学校だより)による情報公開